

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年10月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271401897		
法人名	有限会社 風の森		
事業所名	グループホーム 風の森		
所在地	〒859-2215 長崎県南島原市西有家町長野762番地		
自己評価作成日	平成23年10月20日	評価結果市町受理日	平成23年12月19日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所1階
訪問調査日	平成23年11月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>A棟 家庭的な雰囲気作りを心掛け、心地良い家庭に近い環境を目指している。また地域との関わりを大切に、行事への参加をさせて頂き交流を図っている。 施設周辺には花や果物の木を植え入居者様と手入れを行い、季節を感じて頂きながら、その方の状態や能力に応じて食事のあとかたづけや掃除の手伝いを共に行っている。</p> <p>B棟 家庭的な雰囲気作りを心掛け、居心地の良い家庭に近い環境を目指している。 施設周辺の木々や芝生の緑にて四季を感じながら心を癒して頂き、地域行事への参加にて地域の住民の方と交流を深め、自らも地域の一員である事を自覚して頂いている。 また入居者様個人個人の状態に合ったお手伝いをして頂いたり、身体レベル低下防止の為の継続したケアやレクリエーションの実施を常に心掛け支援を行っている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当ホームは建設会社を母体に持ち、経営者が福祉に興味を持たれ、地域に貢献できたらとの思いから開所に至った。近隣には畑や民家が多く、小学校もある。

職員の離職者が少なく、ホームは家庭的であり、自宅と変わらない生活、職員・利用者が家族のような生活で笑顔を絶やさず、仲良く生活している事が管理者の自慢である。

今後の改善点として、人と人とのコミュニケーションは会話から始まり大事であるので、職員同士で話す際は、利用者を交えて会話する事が挙げられている。また、管理者は、自分の親を入れたいとの思いもあり、改善点に積極的に取り組む意向で、今後、ますます期待の持てるホームである。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域との触れ合いを大切にして家庭的な環境の中で生活して頂ける様目標をかかげ職員全員共通の思いで援助できるよう努力している	入社してすぐに、「理念の基にお手伝いをしている」ということを指導し、全員で取り組むようにミーティングや申し送り前に、時々理念の復唱を行っている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の秋祭りで施設の庭に神輿を入れ、入居者の方が賽銭を入れお参りさせて頂いたり、また近所の方より野菜や饅頭などを持ってきて下さるなど交流させて頂いている	地域との交流も多く、長野小学校からブルタブを集めての2台目の車いすを寄贈して頂くことや、塔ノ坂分校との交流も予定されている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	小・中・高校生の福祉体験の場として利用して頂いている。また地域の方の施設見学の受け入れ等積極的にやっている	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域での取組み実施内容などの報告を行い参加して下さった方から意見を頂き、今後のサービス向上に活かしている	2カ月ごとに、地域包括支援センター、家族代表、地域代表の参加により開催されている。活動内容にとどまらず、意見交換の場になっている。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町担当が公的扶助を利用されている入居者を訪問して来られたり、施設の実態を知って頂ける様な情報を報告行っている	生活保護や成年後見人制度を利用されている方があり、担当が見えたり、分からないことがあれば広域や役所に電話で問い合わせることもあり、協力関係は築かれている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関には施錠をする事無く自由に入出りが可能で常に気配りを怠らないよう心掛けている近所の方へも見守りや連絡をして頂けるよう依頼している</p>	<p>身体拘束をしないケアの研修を年間計画に入れ、内部・外部研修をおこない支援に反映させている。利用者に付き添える体制を取っており、言葉かけをお互い皆で呼び掛け合っている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>利用者様の身体状況を常に観察し異変がないか確認している。言葉の暴力に対しても同様である。管理者は職員へ周知徹底し防止に努めている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会への参加にて知識を得ており必要時は対応できる体制を取っている</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約や解約時は十分説明を行い理解をされた上で同意を頂いている。また不審な点についても再度説明を行い納得して頂いている</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様や御家族様とのコミュニケーションを大切にし意見、要望、苦情は謙虚に受け止め今後の施設運営に活かせる様努めている。玄関に苦情箱を設置している</p>	<p>遠方の方以外は、面会を兼ねて支払いに来て頂き、希望や困っている事のやり取りを行い、プランに繋げている。独自にアンケート調査を行い帰ってくる件数は少なかったが、良い返答もあり、家族も協力的である。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月1回全体会議を行い意見、提案を聞く場を設け運営に反映させている</p>	<p>去年より施設長の提案で上期と下期で職員の希望や改善点などを掲げてもらい半年間、実践し面談（施設長、管理者、事務長、職員）評価を行い運営に反映させている。</p>	

12	<p>就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員それぞれに合った勤務時間配分を心掛けているまた年2回の健康診断を実施し健康管理に努めている</p>		
13	<p>職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修への参加を全職員へ呼びかけ多くの職員が参加し知識・技能の向上へとつなげているまた研修の資料は全職員が閲覧できる体制にしている</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>地域のグループホームケア研究会に加入しており共通の問題、悩み等の意見交換を行い知識を高めサービスの向上に取り組んでいる</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用前に利用者様との会話を十分に行い不安や思いを把握しニーズに対し対応できるように努めている</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用前家族との会話をを行い利用者、家族の思いを把握しサービス提供に努めている</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>介護保険、高齢者福祉、生活保護等を含め必要時は関係機関へ相談助言を得るように努めている</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>食後の食器、テーブル拭き等職員、入居者様と共に助け合い家族同様に暮らせるような環境を心掛けている</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や電話で状態報告を行っている。状態変化だけでなくお互いに不安な事の相談を行い対応について意見を交換したり本人様を支えていくよう努めている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている</p>	<p>馴染みのある理容院へ外出したり訪問して頂いたり、また墓参り等への外出に努めている</p>	<p>家族支援で結婚式に出席されたり、正月には外泊される方もいる。遠方の方からは手紙や写真付きの年賀状を受け取られたり、希望があれば電話もできる。耳が聞こえにくい方には伝言して支援に努めている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一人一人の能力や出来る事を見極め互いに尊重し支えあえる関わりを大切に思い支援に努めている。洗濯物たため新聞折、茶碗拭き等を皆で分担しながら行っている</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>必要と思われる場合自宅訪問や電話での相談を行い状況に応じて本人様了解のもと介護支援専門員やサービス提供者への報告を行っている</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人様の意向を考え対応している。困難な場合は職員と家族が相談を行い対応策の検討をしている</p>	<p>家族の方からの聞き取りや、日頃の勤務中の会話の中から聞いている。</p>	

24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時に本人様及び家族の方に居間までの生活歴や好まれる事等尋ね、馴染みの品等を持って来てもらっている</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人一人の生活内容を毎日の記録に残している。心身の状態の変化を見逃さず本人様のやる気を支援している</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>月に一度会議を行っており入居者の今の状態、ケアのあり方など家族に助言を頂きながら全職員の意見交換を行いながら介護計画を作成している</p>	<p>聞き取りを重点に家族や介護者、看護師のアイディアを貰いながら支援している。ケア会議に入る前にモニタリングを行い、モニタリングは基本的に3カ月に1回行い、必要があれば随時実施される。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランチェック表を作成し毎日の結果を記録している。その中で気づきがあれば月1度の会議で検討している</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入院時や退院、外出や外泊等本人様やご家族の意向に柔軟な体制を取っている</p>		

29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域のボランティア、地域の小学校との触れ合いを大切にしており、消防団の方や地域の方参加のもと消防訓練など安全面も気をつけながら支援に努めている</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族、本人様の希望される病院にて受診、往診を受けられるよう支援している。</p>	<p>遠方まで、かかりつけ医の受診も支援を行っているが、現在は家族、本人の同意を得て、協力医受診の方が多くホームで支援している。また他科受診も支援している。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者様の体調の変化があれば施設内看護師に相談報告行っており必要に応じて家族の要望等あれば医療連携も取れるよう支援している</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院されても1ヶ月は在籍しており本人様の状態を常に把握できるように病院と連絡を取りいつでも受け入れが出来る様対応している</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取りに関する指針を取り決め同意を得ている。また施設、家族、医療機関との方向性を共有できるよう努めている</p>	<p>家族の希望により今までに1人看取りの経験がある。今後も希望があれば対応したいとされている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>状態変化、事故発生時の対応等マニュアルを設置すると共に、事故がない様ヒアリハットをもとに勉強会を行っている</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>1年に2回消防署の協力にて火災、地震を想定し訓練行っており地域の方の協力もお願いし緊急時の対応を身につける様努めている</p>	<p>消防団の方が運営推進会議メンバーで協力体制が取れている。また、台風が来る前には母体である建設会社の協力体制もある。持ち出し品のリストや備蓄も整備されているが個人ファイルが整備されていない。</p>	<p>持ち出し品リストに個人ファイル(写真付き)を追加されることを期待したい。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊敬し声掛けにも注意し対応している。個人記録や情報に関しても整理整頓に努め安易に他人の目に触れないよう努めている	個人情報等は事務所で保管している。各居室のコールが鳴ったら職員に入ることを伝えて支援している。常日頃言葉かけにはお互いに注意し合っており、本人にも促している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃より会話を大切にし本人様の思いや希望を受け止め自己決定できるような促し方、声掛けを行っている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースに合わせた支援を行っている。本人様の希望される買い物や外出も支援できるような体制を取っている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床後の身だしなみや、その方の好きな色等お聞きし一緒に選んだりしている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の野菜を取り入れたりしながら食事の前後の台拭きや食器拭き等お手伝いしていただいている	全盲の利用者がいるので、優先的に少し早目に食事介助を行うなど、工夫されている。また、職員も見守りながら食事を一緒にし会話がはずんでいる。予定献立作りは3人で行われているが実施献立に材料の記録漏れがある。	献立実施記録の味噌汁や汁物等材料名がなく、材料が重複することも考えられるので、記録を取られる事を期待したい。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後に食事摂取量、水分量をチェックし記録に残している。少ない時は捕食で提供したり、高カロリー飲料で栄養を補給している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の声掛けを行い、個人の状態によっては介助を行っている		

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>常に声かけを行いチェック表を見ながらトイレでの排泄が出来る様支援している。失敗された時も他の人に気づかれないよう心掛けている</p>	<p>排泄記録表を工夫した結果、リハビリパンからパットに変わるなどの見直しができている。また、居室に汚染バケツを置き、失敗した時、人に気づかれないように、本人の羞恥心に配慮する工夫を行っている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日の排便をチェックし運動を取り入れながら主治医と相談しスムーズな排便が出来る様取り組んでいる</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入居者様一人一人の入浴スタイルを大切に、見守り、介助行いながら気持ち良く入って頂ける様支援している</p>	<p>入浴は週3回で、汚染があればその都度支援している。入浴拒否の方には、無理強いせず、本人の意志に任せている。仲の良い入居2人で入浴を楽しまれる事もある。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一人一人の体調に応じて安眠や休息して頂けるよう支援している。不眠者に対しては主治医との連絡、相談等行っている</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>病院への受診、往診時は指導を受けた内容や処方内容もしっかり記録行い、職員全員が内容を把握できるようにし毎食後の服薬もチェックしている</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>出来る事を出来る範囲で手伝って頂き、御礼、感謝の言葉掛けを忘れず行っている</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>季節に合わせて花見やドライブに出かけ楽しんで頂いたり、買い物に出掛けたり支援行っている</p>	<p>散歩に出かけたり、広い庭に色々な果物の木が植えられ、外気浴や食事をするなど工夫をし、ストレスをためさせない努力をしている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人様の必要な物等の訴えがあった時はすぐに支援できるよう対応している</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人様の希望にいつでも対応できる様家族への電話の仲介や支援は必要に応じて対応している</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人様の馴染みある湯飲みや食器等を使用し心地良い食事をして頂けるよう工夫したり、共用空間では四季折々の飾りつけ等行い工夫している</p>	<p>広いリビングには、ピアノ、テレビ、ソファが配置され、ゆっくりとくつろぐことができる。浴室や廊下も広く開放感がある。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアでゆっくり過ごして頂ける様ソファ、TVを置き入居者様同士またはスタッフも交えて楽しく会話出来る様心掛けています</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様の馴染みのある家具等持ち込んで頂き、その人らしい空間を作り生活できるよう支援している	利用者はそれぞれが思いの品（タンス、テレビ、仏壇、趣味の物等）が居室に置かれ、一人ひとりの環境を大切にし落ちつける工夫がある。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	室内はバリアフリーとなっており色々な所に手すりを取り付けられ、一人一人に合った支援、見守りを行い不安を取り除けるよう努めている		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域社会とのつながりを大切にし、家庭的な環境の元、穏やかに暮らして頂くことを介護理念に掲げている。また、理念を玄関に掲示し、日々の介護に取り組んでいる。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の秋祭りの際、施設に立ち寄られた神輿にお参りさせて頂いたり、施設周辺の農家の方々より野菜を頂いたりの良い付き合いをさせてもらっている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	小・中・高校生の福祉体験の場として利用している。また、地域の方の施設見学の受け入れを積極的に行っている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設内での取組みを報告、それに対する評価、意見を頂きながら今後のサービス向上に努めている。		
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町担当者に施設の実態を知って頂き、緊急時、すぐに協力して頂ける体制を取っている。		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>施設内で全職員による勉強会を行い、身体拘束をしないケアに努めている。玄関に施錠をせず、自由に出入りできる体制を取っている。また、言葉による拘束もしない様、注意を払っている。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>入居者様の日頃の様子、また、身体の状態を十分把握しておき、様子の違い・変化を見落とさない様にしている。職員へは虐待することのないよう、周知徹底させている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護についての勉強会に参加し、知識を得ている。必要に応じ対応できるように、体制を取っている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前や解約前には十分な説明を得た上、契約や解約の同意を頂いており、不安や疑問がある場合は相談をくださるよう申し出ている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情箱を設置し、無記名で投函して頂けるようにしている。利用者様やご家族様に対しては、常に話しやすい環境を心がけ利用者様に対しては会話の中から意見や要望がないかきけるよう心がけている。ご家族様へは、普段の様子などをお話することにより意見や要望が話して頂けるよう心がけている。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員から意見がでたら管理者が十分にその職員の意見や提案を聞き、代表者へ報告。すぐに反映する事があれば代表者もしくは管理者から職員へ申し送り等を使い伝達、又は月に1回の全体会議にて、意見・要望提案など出し合っている。</p>		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員1人1人目標を設定し、目標達成できるよう勉強会や外部勉強会への参加など各自が向上心を持って働けるよう努め、半年に1回個人面談を行っている。また、職員の心身の健康を保つため健康診断を実施している。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内では、勉強会を月1回実施。法人外の研修も、多くの職員が参加できるように対応し、受講参加を呼びかけている。また、参加できない職員に対しても回覧や全体会議を通じ全職員へ申し送るよう努めている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>勉強会や交流会に参加し、同業者と意見交換を行っている。その意見交換を持ち帰り職員で話し合い、良い所を取り入れサービスの質の向上をさせて頂いている。また、グループホームケア研究会に加入している。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人様と必ず面談を行い表情や態度話しやすい環境、雰囲気にながら意向の確認や、身体的状態、精神的状況を把握している。また、それからを考慮した環境、雰囲気作りに努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様との面談を行い利用者様への思いや意向を確認し本人様の意向を受け止めることが出来るよう努めている</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>介護保険、高齢者福祉、生活保護等を含め、必要時は相談を行い助言を得るよう努めている</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>一人一人に合わせた声掛けの対応を心がけ精神的状態や身体的状態を勘定し一緒に時間を過ごす事でよい関係作りに努めている</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や電話にて、家族への状態報告及び状況、経過報告等行っている。また家族の要望や本人様の意向に出来る限り同じ思いで対応できるよう努めている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている</p>	<p>今まで住んでいた地域の会合や美容院等への外出に努めている</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>個人個人の能力や身体状態、性格等を見極め互いに尊重し支えあえる関わりを大切にしている。日頃一緒に過ごされているフロアソファの順序、場所等特に配慮行っている</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>必要と思われている場合、自宅訪問や電話での相談等行い状況に応じて本人様了解のもと介護支援専門員やサービス提供者への報告を行っている</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人様の思いや意向を第一に考え、ご家族様の意向もふまえた上でケアマネジメントを行っている。必要な時はご家族様への協力も御願ひしている。困難な方への対応は、ご家族様にも相談し、その方らしい支援が行える様努めている</p>		

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴や家庭環境を把握しその方の習慣などを大切に馴染みの物や大切に持ってきた物を持ち込んで頂く様お願いしている</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人一人一日の過ごし方、くつろぎ方を把握し日頃より状態等の変化を見分ける等努めている</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>一人一人に担当職員を決め十分にその方の状態把握に努めている。介護計画を立てる際は、本人様及びご家族様の意向に合ったケアが出来るよう全職員で意見交換を行い進めている</p>		
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人別にファイル毎一日の状態を観察し記録を行い全職員情報を共有し検討が必要な場合はケア会議時対応やケアの方向性を見直している。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入院や退院、外出や外泊等本人様やご家族様の意向に柔軟な体制を取っている</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議委員の中に地域の方、消防団所属の方に協力頂いている。また地元小学校やボランティア等の協力も受けながら支援を行っている</p>		
30	11 <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人様やご家族様が望まれる病院を受診できるよう支援している。また状態悪化時にはかかりつけ医やご家族様と相談行い適切な医療が受けられる様な支援行っている</p>		

31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の健康管理や状態変化を把握し主治医と看護師等とのやり取りも日頃より相談できる体制が取れている</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>個人情報に関する同意を得、家族、施設、医療間情報を共有し早期退院の支援に結び付けている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期についての指針を作成しそれにもとずいて施設、家族医療機関の方向性を共有している。重度化した場合についても本人及び家族の意向を尊重した上で医療機関との連携について方針を共有し対応している</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>日頃より医師や看護師の助言を頂き対応できるように努めている。緊急時マニュアルを作成し職員に周知し対応している</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>夜間や地震、火災を想定した避難訓練、消化訓練を年2回地域の方や消防団の方に協力頂き行っている</p>		

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけには細心の注意を払い、慣れ親しんだ中にも礼儀を忘れる事無く対応するよう努めている
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様のペースに合わせて本人様の気持ちを聞き入れながら表情や反応を注意深く観察し、思いを伝える事が出来るように心掛けている
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間や入浴の時間等本人様のその日の気分や体調にあわせ選択できるように施設の環境を整えている
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人様行きつけの理容・美容院へ出かける事が出来るよう支援している。その日の洋服の選択は出来る限り本人様へ任せている
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の下ごしらえ等で出来る事は職員と一緒にを行い、出来た時の喜びを分かち合い一緒に食事を楽しむなど食事の時間を大切にしている
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状態に応じて食材の切り方や調理、盛り付けを工夫している。また旬の食材で好まれるメニュー作りを心掛け毎日の食事摂取量や水分量を記録し把握している

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアの声掛け、介助、見守り等個人の能力に合わせて行っている</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人一人の排泄パターンを把握し、時間帯での介助、訴え時の介助等その時の状況や個人能力に応じた対応を行い本人様が気持ちよく排泄出来る様支援している</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>乳製品や繊維の多い食物を取り入れ毎日の排便の確認、把握に努めている。また必要に応じ主治医への相談を行っている</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>シャワー浴、浴槽、部分浴や清拭等、本人様の希望や体調に合わせる事が出来るように対応し安心して入浴を楽しむことが出来るよう努めている</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>体調やその日の気分で自室で過ごされたり、フロアで皆様と過ごされる様自分で選択出来る様支援している。個々の部屋毎に冷暖房を完備し一人一人の好みに対応し安心して休息、睡眠して頂ける様努めている</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方内容を薬管理に記録を行い職員が内容を把握、理解出来る様している。毎食後服薬の有無のチェック管理をしている</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>食器拭きやテーブル拭き等一人一人の力に合わせて手伝って頂き共同で作業を行う。行って頂いた際は必ず感謝の声かけを行っている</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>散歩やドライブ地域行事への参加など本人様の希望に沿った外出支援している</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で管理できる方は持って頂き、出来ない方は施設でお子遣い帳にて管理行っている。また希望時いつでも対応できるよう支援している</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話や手紙、本人様の希望にいつでも対応できる様準備行い支援している</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に合った手作り作品や花などを飾ったり音楽を流したり親しみやすい空間になるようにしている</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファやテーブルを複数置き一人になったり、気の合う方々が自由にくつろぎ過ごせる居場所を用意している</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や生活用品を置き写真や装飾品を飾り穏やかに過ごせる部屋になるようにしている		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は全てバリアフリーとなっており要所に手すりを取り付け安全かつ自立した生活が送れるようにしている		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)			1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)			1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)			1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)			1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)			1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)			1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)			1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)			1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない